

オープンキャンパス2026（大学院説明会・体験入学説明会）

担当教員 2026年度担当教員

総合研究大学院大学 分子科学コース 准教授 岡本 泰典

2026年5月23日（土）に、オンライン形式にて分子研オープンキャンパスを開催しました。実施にあたっては、各研究教育機関へのポスター送付、専用HP、分子研X（旧Twitter）、YouTubeショート動画などを通じて広報活動を行い、日本全国から多数の大学生・大学院生の参加がありました。

午前の部は、岡崎コンファレンスセンター（OCC）にて11時から行われました。渡辺所長による分子研の概要説明、松井先生による総研大および大学院入試の説明に続き、参加した14の研究グループの教員による研究室紹介があり、分子研で進

められている最先端の研究内容が紹介されました。

お昼の時間帯には、ランチ交流会を実施しました。会場には研究グループごとのポスターブースが設置され、参加学生と教員の間で密な交流や活発な議論が交わされました。また、会の途中では、現役の大学院生によるキャンパスライフ紹介とQ&Aの時間も設けられました。

午後の部では、明大寺キャンパ

スおよび山手キャンパスにてラボツアーを実施しました。各研究室の見学を通じて、参加学生に分子研での研究活動を間近に感じてもらうことができました。

参加された先生方や大学院生、運営スタッフの方々のご協力により、充実したオープンキャンパスとなりました。この場を借りて御礼申し上げます。



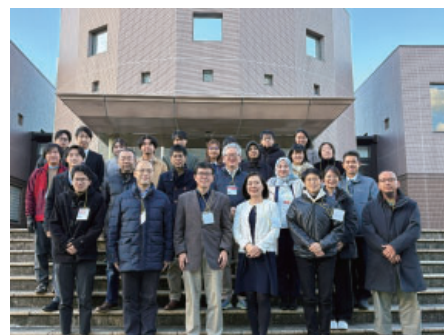
総研大アジア冬の学校2025

担当教員 2025年度担当教員

総合研究大学院大学 分子科学コース 准教授 奥村 久士

2025年度の総研大アジア冬の学校が2026年1月21日（月）に岡崎コンファレンスセンター小会議室において開催されました。アジア冬の学校は、研究・教育活動をアジア諸国の大学院生及び若手研究者の育成に広く供するために2004年度に始まりました。毎年アジア全域

から参加者を募り開催されています。今年度はインターンシップ生5名、総研大生6名、研究員1名、外部大学学生8名、教員10名（外部講師2名+分子研教員8名）の合計30名で実施されました。今年度は国立台湾大学のYa-Ping CHIU教授、同じく台湾の



国立陽明交通大学の平松弘嗣准教授にお越しいただき講義していただきました。また、若手参加者によるフ

E V E N T R E P O R T

ラッシュトークおよびポスター発表が19件行われました。講義やポスター発表、休憩時間においても活発な議論が行われ、インターンシップ生や総研大生、参加者にとって有意義な国際交流の場になったと思います。特に総研大生が外国人学生と頑

張って英語で意思疎通しようとしていた姿が印象的でした。

椋山儀恵先生には、世話人として本行事の運営にご尽力いただきました。また、研究力強化戦略室の永園尚代さん、増田道子さんには、準備から当日の進行までさまざまな面で

支えていただきました。本事業にご協力いただきました関係者の皆様にご場をお借りして深く御礼申し上げます。

第3回岡崎3機関学生交流会

総合研究大学院大学先端学術院分子科学コース 高原 裕大、松田 定治

2026年4月24日、岡崎コンファレンスセンターで「第3回岡崎3機関学生交流会」を開催しました。本交流会は、岡崎3機関（分子科学研究所・生理学研究所・基礎生物学研究所）に所属する総研大生、特別共同利用研究員および教職員の親睦を深めることを目的として、ポスター発表と懇親会を組み合わせた形式で実施しました。今年度で3回目を迎える本交流会は、第1回の発起人である吉田さん（分子研・瀬川グループ）が築かれた学生主体の交流の場を引き継ぎ、各研究所の学生が中心となって企画・運営しました。当日は、学生約80名、教職員約20名にご参加いただき、研究紹介として約15件のポスター発表が行われました。本交流会を通じて、研究分野や所属を超えた活発な交流が生まれ、参加者同士が互いの研究や活動について理解を深める貴重な機会となりました。

運営にあたっては、永園さん（分子研）、本多さん（生理研）、上原さん（生理研）、高橋さん（基生研）のご協力のもと、準備を進めました。また、多くの教職員の皆様から、予算面でのご支援や差し入れなど、多大なるご協力を賜りました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

来年度も引き続き、同じ岡崎の地で研究に励む学生が研究所の垣根を越えて交流できるイベントを企画してまいります。学生、教職員を問わず、多くの皆様のご参加をお待ちしております。今後ともご支援、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

